一九七五（昭和五十）年四月～六月の約五十日間、ヨーロッパを中心に一人旅をした。二十四歳の時であった。約五十年後、残っていた資料・写真を頼りに、当時の行動や思いを旅行記として描いた。また、現在の心境などからの感想も一部付け加えた。

この旅行記が私を知る家族・知人の他、どなたかの目に留まり、何らかの思いを引き起こすことに役立つなら幸いである。

若くして旅をせずば、老いて何を語らん——ゲーテまたは中国古典より